

2010年度決算説明会



株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

2011年5月

目次

・決算概要Ⅰ－①<P/L:連結・2行合算>.....	1	・住宅ローン.....	16
・決算概要Ⅰ－②<P/L:各行>.....	2	・取引先支援・金融円滑化への対応.....	17
・決算概要Ⅱ－①<B/S:連結・2行合算>.....	3	・預貸金利ざや①.....	18
・決算概要Ⅱ－②<B/S:各行>.....	4	・預貸金利ざや②.....	19
・トップラインの増減要因①～資金利益.....	5	・投資型金融商品.....	20
・トップラインの増減要因②～非金利収入.....	6	・有価証券残高・評価損益.....	21
・トップラインの増減要因③～経費.....	7	・ポートフォリオ(円貨債券).....	22
・有価証券関係損益.....	8	・営業力の強化.....	23
・与信費用・不良債権.....	9	・情報提供力の強化.....	24
・自己資本の状況.....	10	・個人マーケット.....	25
・繰延税金資産.....	11	・店舗戦略と人材育成.....	26
・業績予想.....	12	・効率化への取り組み.....	27
・預金.....	13	・経営基盤の安定化.....	28
・貸出金.....	14	・地域とともに.....	29
・信用保証協会保証付貸出.....	15		

分割子会社北銀コーポレートは再生支援専門会社として設立されましたが、当初の設立目的終了から平成21年9月に清算結了いたしました。一部過年度計数には分割子会社計数を加算し表示しています。

決算概要 I ー①<P/L:連結・2行合算>

2010年11月15日公表

<ほくほくFG連結> (億円)	[業績予想]	11/3期	増減	10/3期
経常収益	[2,150]	2,146	▲120	2,267
経常利益	[320]	372	+18	354
当期純利益	[175]	184	▲8	192

<2行合算> (億円)

コア業務粗利益	[1,565]	1,554	▲55	1,609
資金利益		1,307	+3	1,303
うち国内部門		1,306	+7	1,298
役務取引等利益		208	▲13	221
特定取引利益		11	▲2	14
その他業務利益(除く5勘定戻)		→▲14 26	▲42	→▲1 69
経費(臨時処理分を除く)(▲)	[970]	986	+42	944
コア業務純益	[595]	567	▲97	664
国債等債券損益		→+17 17	▲3	→+8 20
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		584	▲100	685
臨時損益		▲188	+128	▲317
与信費用(▲)	[220]	145	▲109	255
株式等損益		▲27	▲10	▲17
経常利益	[335]	370	+1	368
特別損益		▲19	▲44	25
法人税等(▲)		154	+20	133
当期純利益	[200]	196	▲63	260

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

<ほくほくFG連結>
当期純利益 184億円 (10/3比▲8億円)

<2行合算>

コア業務純益567億円 (10/3比▲97億円)
 ・ ・ ・粗利益減少、経費増加
 経常利益 370億円 (10/3比 +1億円)
 ・ ・ ・与信費用の減少
 当期純利益 196億円 (10/3比▲63億円)
 ・ ・ ・前期は子会社清算益や退職給付設定益
 など特別利益を計上

連単差の内訳

(億円)	11/3期	増減	10/3期
差額 A-B	▲12	+55	▲68
子会社利益	14	+10	3
子会社清算	-	+31	▲31
のれん償却	▲24	+0	▲24
有価証券損益調整	▲0	+9	▲10

決算概要 I ー②<P/L:各行>

(億円)	〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	11/3期	増減	10/3期	11/3期	増減	10/3期
コア業務粗利益	885	▲15	901	668	▲39	708
資金利益	730	+4	725	576	▲1	577
うち国内部門	732	+8	723	573	▲0	574
役務取引等利益	128	▲6	135	79	▲6	86
特定取引利益	11	▲2	14	-	-	-
その他業務利益(国債等債券損益を除く)	14	▲11	25	→▲14 12	▲31	→▲1 43
経費(臨時処理分を除く)(▲)	538	+20	518	447	+21	426
コア業務純益	346	▲36	383	221	▲60	281
国債等債券損益	▲6	+4	▲10	→+17 23	▲7	→+8 30
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	340	▲32	372	244	▲68	312
臨時損益	▲109	+59	▲168	▲79	+68	▲148
与信費用(▲)	71	▲63	134	74	▲45	120
株式等損益	▲22	▲7	▲14	▲5	▲2	▲2
経常利益	229	+29	199	141	▲28	169
特別損益	▲17	▲35	18	▲2	▲9	6
法人税等(▲)	92	+31	61	61	▲11	72
当期純利益	119	▲37	156	77	▲26	103

下線付数字:それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

決算概要Ⅱ ①<B/S:連結・2行合算>

<2行合算> (億円)	11/3末	増減	10/3末
貸出金	72,411	+2,474	69,936
うち中小企業等	48,263	▲642	48,906
うち個人ローン	19,933	+259	19,673
有価証券	23,151	+3,000	20,150
預金(含む 譲渡性預金)	95,238	+4,035	91,203
うち個人預金	66,109	+2,089	64,020
個人預かり資産	73,096	+1,519	71,577
預金(円貨)	65,831	+2,080	63,750
投資型金融商品	7,264	▲561	7,826
外貨預金	278	+8	269
公共債	2,758	▲286	3,044
投資信託	4,228	▲283	4,512
金融再生法開示債権	2,205	+53	2,152
金融再生法開示債権比率	2.96%	▲0.02%	2.98%
<ほくほくFG連結> (億円)			
自己資本比率	11.29%	+0.46%	10.83%
Tier1比率	7.45%	+0.40%	7.05%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	17.14%	▲3.89%	21.03%
その他有価証券の評価差額	173	+32	140

<2行合算>

貸出金 10/3比 + 2,474億円

・・・事業性・個人ローンの増加に加え
公金で大幅増

有価証券 10/3比 + 3,000億円

・・・国債・地方債を中心に増加

預金 10/3比 + 4,035億円

・・・個人預金中心に増加

個人預かり資産 10/3比 + 1,519億円

・・・個人預金が伸長

開示債権 10/3比 + 53億円

開示債権比率 10/3比▲0.02%

<ほくほくFG連結>

自己資本比率 11.29%

有価証券の評価差額 +173億円

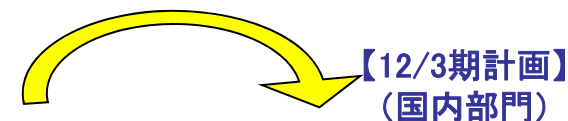
決算概要Ⅱ ー②<B/S:各行>

(億円)	〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	11/3末	増減	10/3末	11/3末	増減	10/3末
貸出金	42,523	+1,096	41,426	29,888	+1,377	28,510
うち中小企業等	28,713	▲108	28,822	19,550	▲533	20,083
うち個人ローン	10,425	+221	10,203	9,508	+38	9,470
有価証券	12,175	+2,015	10,159	10,976	+985	9,991
預金(含む 譲渡性預金)	54,399	+1,331	53,067	40,839	+2,703	38,136
うち個人預金	36,132	+654	35,478	29,976	+1,434	28,541
個人預かり資産	40,630	+346	40,284	32,465	+1,172	31,292
預金(円貨)	35,930	+645	35,285	29,900	+1,435	28,465
投資型金融商品	4,700	▲298	4,998	2,564	▲262	2,827
外貨預金	202	+9	193	75	▲0	76
公共債	1,847	▲130	1,977	911	▲155	1,066
投資信託	2,650	▲177	2,828	1,577	▲106	1,684
金融再生法開示債権	1,443	▲30	1,473	763	+83	679
金融再生法開示債権比率	3.28%	▲0.14%	3.42%	2.49%	+0.17%	2.32%
自己資本比率	11.32%	+0.52%	10.80%	10.59%	+0.40%	10.19%
Tier1比率	7.21%	+0.45%	6.76%	7.05%	+0.24%	6.81%
繰延税金資産(ネット)対Tier1比率	20.49%	▲6.52%	27.01%	14.73%	▲0.62%	15.35%
その他有価証券の評価差額	175	+63	111	73	▲30	104

トップラインの増減要因① ～資金利益

- 競争激化の進行で利回りは低下・国債中心に有価証券積み上げ
⇒ 減収分を有価証券利息でカバーし、資金利益は前年を上回る

【資金利益(国内部門)の増減要因】



【12/3期計画】
(国内部門)

(億円、%)	10/3期			11/3期			増減			要因分析				
	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	利回	利息	平残	レート			
〈2行合算〉												2行合算		
資金利益			1,298			1,306			7			平残	利回り	
貸出金	69,649	1.87%	1,306	69,834	1.75%	1,223	184	▲0.12%	▲82	3	▲85	貸出金	+1,255	▲0.09%
有価証券	18,303	1.00%	183	21,369	1.04%	222	3,066	0.04%	38	31	7	有価証券	+2,275	▲0.03%
預金・NCD	88,812	0.21%	186	92,172	0.14%	132	3,359	▲0.07%	▲54	5	▲60	預金・NCD	+1,590	▲0.04%
〈北陸銀行〉												北陸銀行		
資金利益			723			732			8			平残	利回り	
貸出金	41,081	1.80%	739	40,969	1.68%	690	▲111	▲0.12%	▲49	▲1	▲47	貸出金	+885	▲0.09%
有価証券	8,732	1.05%	92	10,630	1.13%	120	1,897	0.08%	28	20	7	有価証券	+1,820	▲0.01%
預金・NCD	51,172	0.22%	115	52,836	0.15%	81	1,664	▲0.07%	▲33	3	▲36	預金・NCD	+685	▲0.05%
〈北海道銀行〉												北海道銀行		
資金利益			574			573			▲0			平残	利回り	
貸出金	28,568	1.98%	566	28,864	1.84%	533	295	▲0.14%	▲33	5	▲38	貸出金	+370	▲0.09%
有価証券	9,570	0.95%	91	10,738	0.94%	101	1,168	▲0.01%	10	11	0	有価証券	+455	▲0.07%
預金・NCD	37,640	0.19%	71	39,335	0.12%	50	1,695	▲0.07%	▲23	2	▲23	預金・NCD	+905	▲0.03%

トップラインの増減要因② ～非金利収入

- 投信販売手数料の減少
- 需要減少に伴い、外為売買益は減少

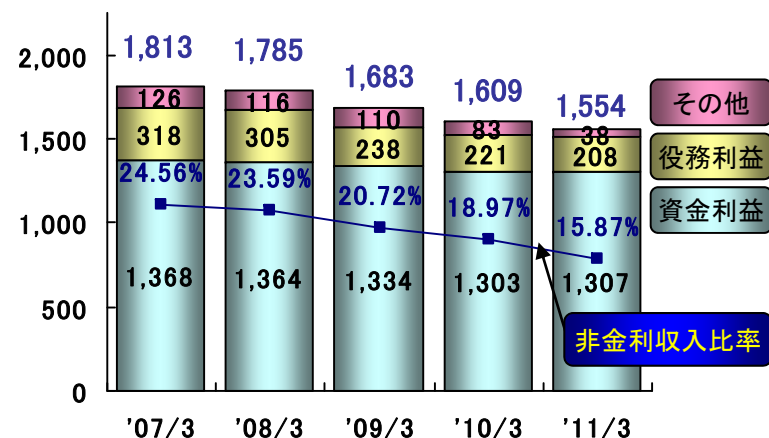
【非金利収入の増減要因】

〈2行合算〉(億円)	11/3期	増減	10/3期
(1) 役務取引等利益	208	▲13	221
役務取引等収益	349	▲8	358
うち受入為替手数料	116	▲2	118
うち投資信託手数料	47	▲5	53
うち保険手数料	36	+3	32
役務取引等費用	141	+5	136
うち支払為替手数料	19	▲0	19
うちコンビニATM手数料	23	+1	21
うちローン保険料・保証料	92	+3	88
(2) 特定取引利益	11	▲2	14
(3) その他業務利益(除く5勘定戻)	26	▲42	69
うち外為売買損益(ネット)	16	▲24	41
うち金融派生商品収益	▲14 9	▲18 ▲1	27
(4) 非金利収入計 (1)+(2)+(3)	246	▲58	305
(5) コア業務粗利益	1,554	▲55	1,609
(6) 非金利収入比率 (4)/(5)	15.87%	▲3.10%	18.97%

下線付数字: それぞれに含まれる債券のオプション取引損益

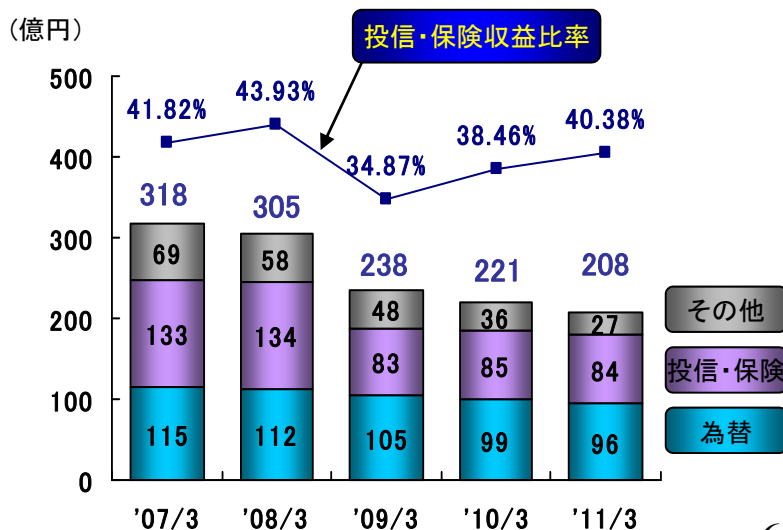
【コア業務粗利益】〈2行合算〉

(億円)



【役務取引等利益】〈2行合算〉

(億円)



トップラインの増減要因③ ～経費

➤ 人員増、システム投資等により経費は増加

【経費の増減要因】

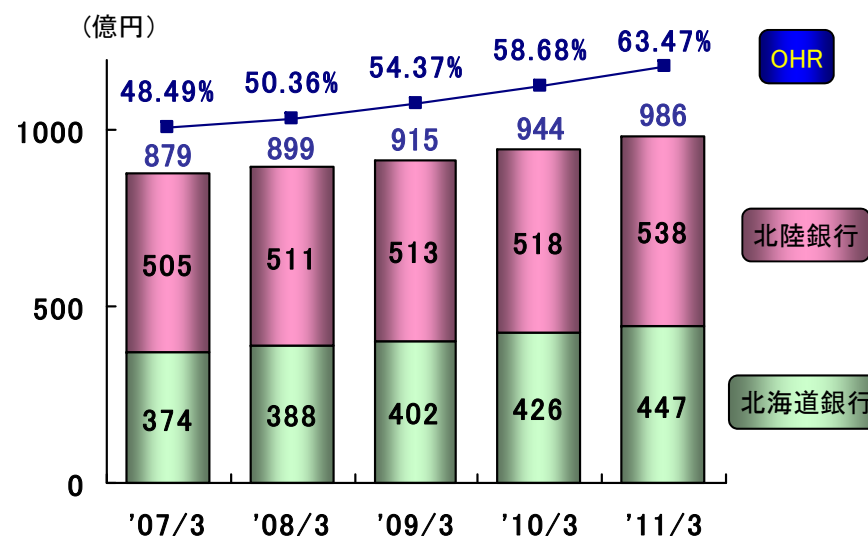
〈2行合算〉(億円)	11/3期	増減	10/3期
経費	986	+42	944
人件費	447	+14	432
物件費	486	+24	462
税金	52	+3	49
OHR	63.47%	+4.79%	58.68%
従業員数(A)	4,940	+419	4,521
スタッフ数(B)	3,491	▲455	3,946
スタッフ比率(B)/{(A)+(B)}	41.40%	▲5.20%	46.60%

※OHR=(経費/コア業務粗利益)

※従業員数は嘱託、パート、派遣社員を除く正行員

※スタッフ数(B)=嘱託行員+契約社員+臨時雇+派遣・直接雇用パート

【経費・OHRの推移】〈2行合算〉



人件費 10/3比+14億円
 ・・・・営業力強化のための人員増加
 契約社員の正社員登用

物件費 10/3比+24億円
 ・・・・システム投資の増加

有価証券関係損益

➤ 国債等関係損益 17億円 (10/3期比 ▲3億円)

➤ 株式等損益 ▲27億円 (10/3期比 ▲10億円)

【有価証券関係損益】

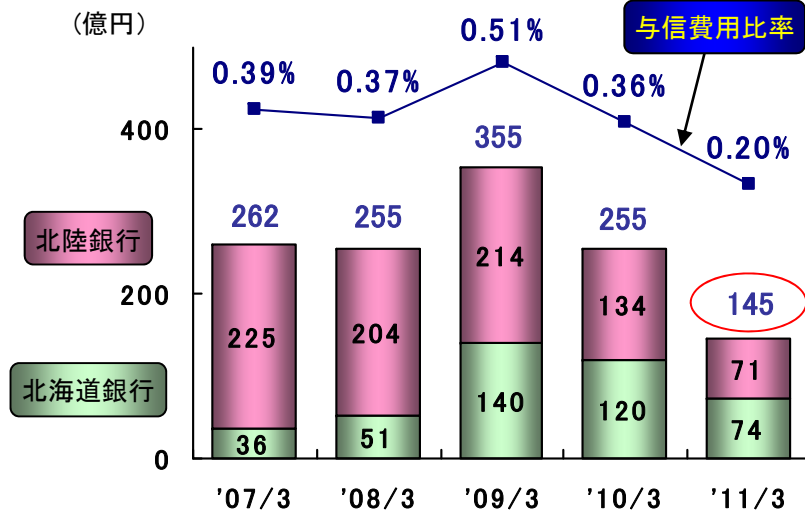
(億円)	〈2行合算〉			〈北陸銀行〉			〈北海道銀行〉		
	11/3期	増減	10/3期	11/3期	増減	10/3期	11/3期	増減	10/3期
国債等債券損益	17	▲3	20	▲6	+4	▲10	23	▲7	30
売却益	52	▲2	54	0	▲0	1	51	▲1	53
償還益	1	+1	-	-	-	-	1	+1	-
売却損	31	+7	24	6	▲2	8	25	+10	15
償還損	-	▲6	6	-	-	-	-	▲6	6
償却	3	+0	3	-	▲2	2	3	+2	0
株式等損益	▲27	▲10	▲17	▲22	▲7	▲14	▲5	▲2	▲2
売却益	5	▲2	8	5	▲1	6	0	▲1	2
売却損	4	▲0	4	3	▲0	4	0	+0	0
償却	28	+7	21	23	+6	16	5	+0	4

減損処理	要注意先以下	時価が取得原価に比べ下落
	正常先	時価が取得原価の50%以上下落、又は、時価が取得原価の30%超50%未満下落かつ市場価格が一定水準以下で推移等

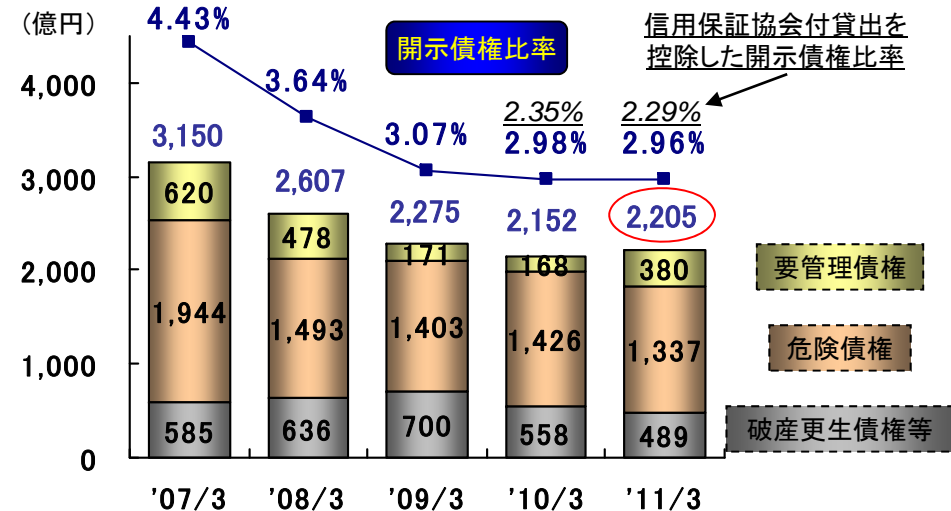
与信費用・不良債権

- 与信費用 145億円 (10/3比▲109億円)、同比率 0.20% (10/3比▲0.16%)
- 開示債権比率 2.96% (10/3比▲0.02%)

【与信費用】〈2行合算〉



【金融再生法開示債権】〈2行合算(+分割子会社)〉



与信費用

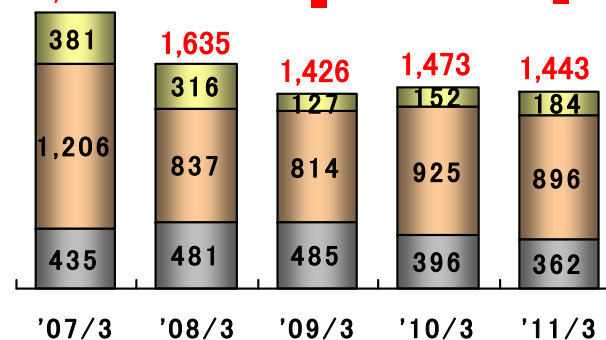
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入

〈北陸銀行(+分割子会社)〉

4.65%
3.72%
3.19%
2.60%
3.42%
2.38%

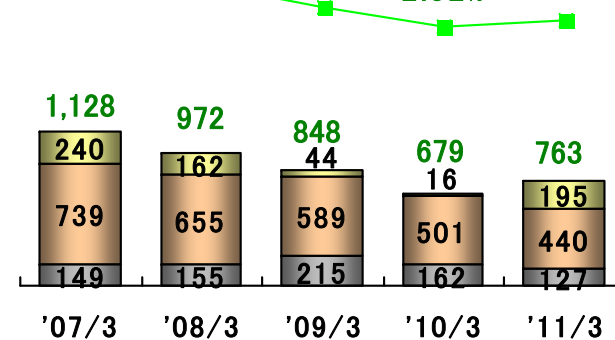
与信費用比率

= 与信費用 ÷ 貸出金平均残高



〈北海道銀行〉

4.08%
3.52%
2.89%
1.98%
2.32%
2.15%



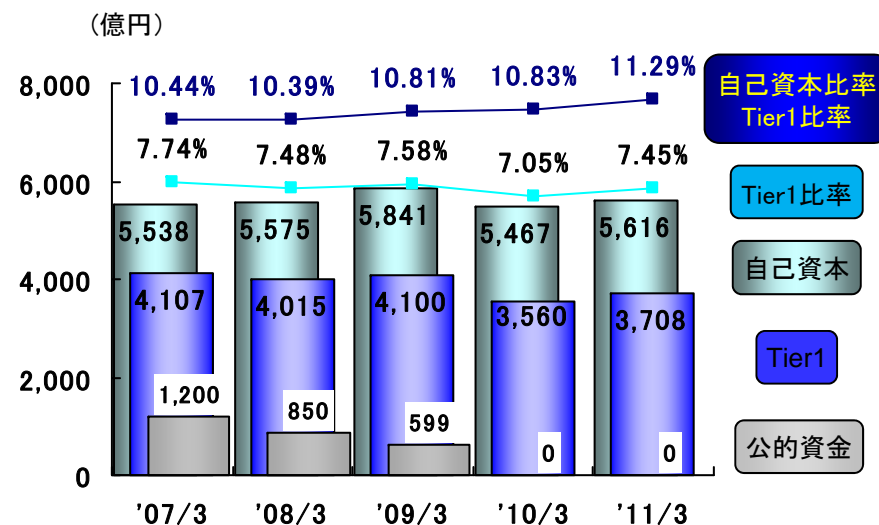
自己資本の状況

➤ 自己資本比率は11.29% (10/3比+0.46%)

【自己資本比率】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	11/3末	増減	10/3末
自己資本比率	11.29%	+0.46%	10.83%
Tier1比率	7.45%	+0.40%	7.05%
Tier1	3,708	+148	3,560
うち優先株式(民間)	537	-	537
Tier2	1,919	▲1	1,921
自己資本合計	5,616	+148	5,467
リスクアセット	49,721	▲741	50,462
信用リスク	46,620	▲584	47,204
オペレーショナルリスク	3,101	▲156	3,258

【自己資本比率・公的資金残高等の推移】



〈北陸銀行(単体)〉

(億円)	11/3末	増減	10/3末
自己資本比率	11.32%	+0.52%	10.80%
Tier1比率	7.21%	+0.45%	6.76%
Tier1	2,046	+82	1,963
Tier2	1,166	▲9	1,176
自己資本合計	3,212	+73	3,139
リスクアセット	28,364	▲682	29,046

〈北海道銀行(単体)〉

(億円)	11/3末	増減	10/3末
自己資本比率	10.59%	+0.40%	10.19%
Tier1比率	7.05%	+0.24%	6.81%
Tier1	1,485	+46	1,438
Tier2	747	+34	712
自己資本合計	2,232	+81	2,151
リスクアセット	21,071	▲33	21,105

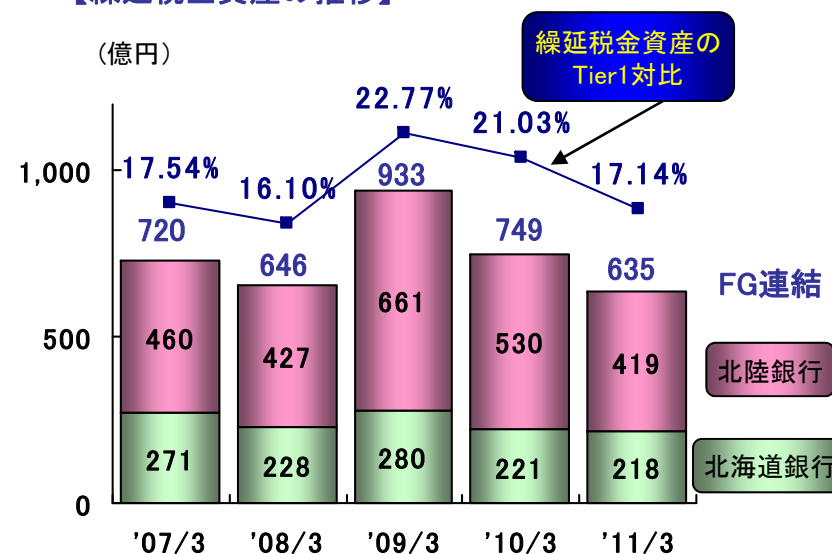
繰延税金資産

- 繰延税金資産 635億円(10/3比▲113億円)
- Tier1対比 17.14%(10/3比▲3.89%)

【繰延税金資産の発生の内訳】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	11/3末	増減	10/3末
貸倒引当金損金算入限度超過額	644	▲41	686
減価償却損金算入限度超過額	18	+1	17
退職給付引当金	174	+1	172
有価証券評価損否認額	145	+8	136
その他	64	+8	55
繰越欠損金	206	▲67	274
(1) 繰延税金資産小計	1,253	▲90	1,343
(2) 評価性引当額	433	+9	423
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	820	▲99	920
(4) 繰延税金負債合計	185	+14	170
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	635	▲113	749

【繰延税金資産の推移】



(億円)	〈北陸銀行〉		
	11/3末	増減	10/3末
(1) 繰延税金資産小計	909	▲84	993
(2) 評価性引当額	374	+1	373
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	534	▲85	620
(4) 繰延税金負債合計	114	+25	89
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	419	▲111	530

(億円)	〈北海道銀行〉		
	11/3末	増減	10/3末
(1) 繰延税金資産小計	296	▲5	302
(2) 評価性引当額	29	+7	21
(3) 繰延税金資産合計(1)-(2)	267	▲13	281
(4) 繰延税金負債合計	48	▲11	60
(5) 繰延税金資産の純額(3)-(4)	218	▲2	221

業績予想

【12/3期 業績予想】

〈ほくほくFG連結〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	11/3期比
経常収益	1,020	2,030	▲116
経常利益	135	310	▲62
当期純利益	75	170	▲14

【12/3期 配当予想】

〈ほくほくFG単体〉

	中間 予想	期末 予想	年間 予想	11/3期比
普通株式	-	3円75銭	3円75銭	-
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭	-

〈2行合算〉

(億円)	中間期 予想	通期 予想	11/3期比
経常収益	935	1,880	▲78
コア業務粗利益	780	1,570	+15
経費	510	1,010	+23
コア業務純益	270	560	▲7
与信費用	110	200	+54
経常利益	135	330	▲40
当期純利益	80	195	▲1

〈北陸銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	11/3期比
経常収益	535	1,070	▲18
コア業務粗利益	445	900	+14
経費	275	550	+11
コア業務純益	170	350	+3
与信費用	60	120	+48
経常利益	100	220	▲9
当期純利益	60	130	+10

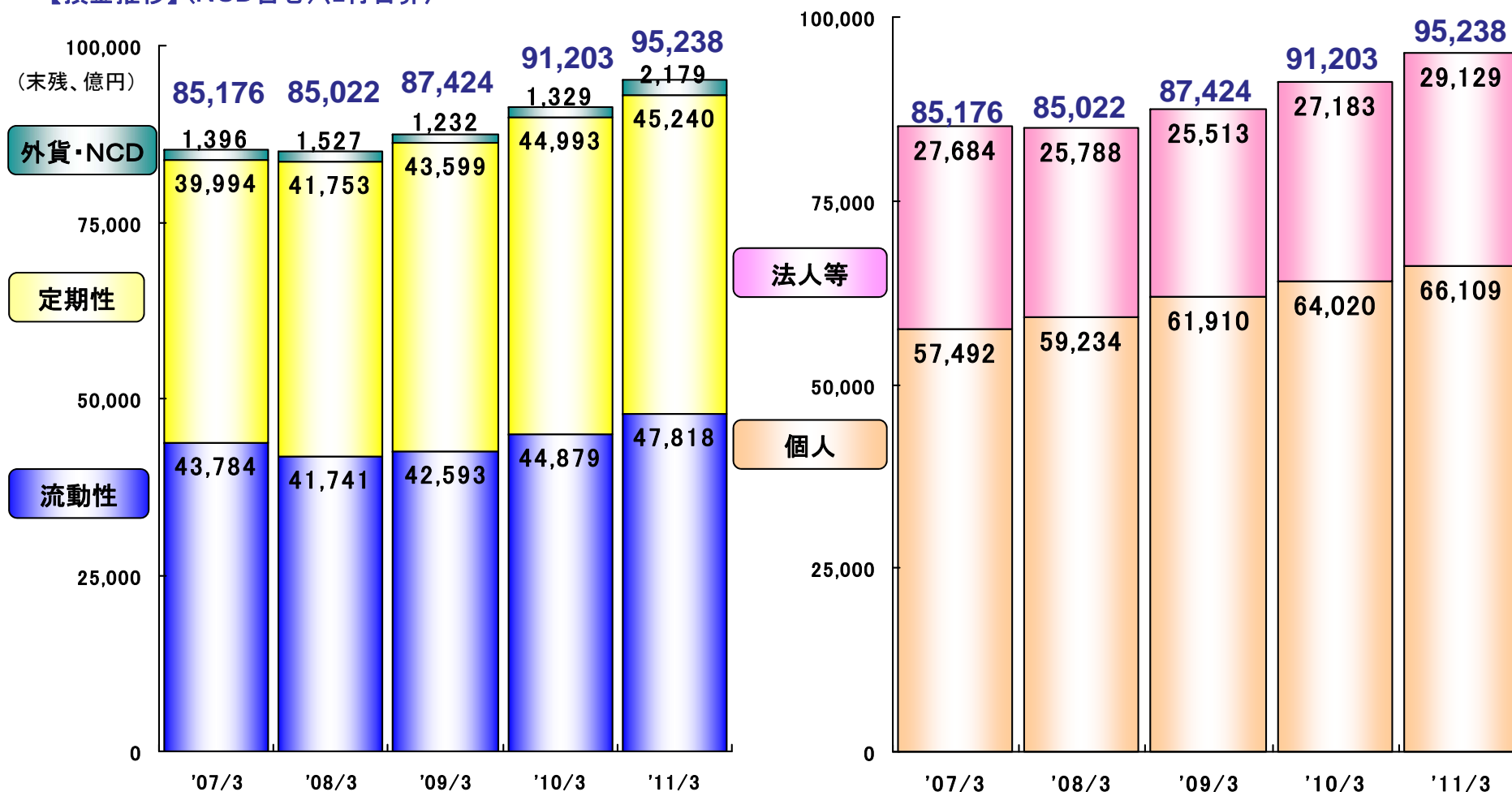
〈北海道銀行(単体)〉

	中間期 予想	通期 予想	11/3期比
経常収益	400	810	▲60
コア業務粗利益	335	670	+1
経費	235	460	+12
コア業務純益	100	210	▲11
与信費用	50	80	+5
経常利益	35	110	▲31
当期純利益	20	65	▲12

預金

- 預金 10/3比 +4,035億円(+4.42%)
- 流動性 10/3比 +2,938億円(+6.54%)
- 個人 10/3比 +2,089億円(+3.26%)

【預金推移】(NCD含む)〈2行合算〉

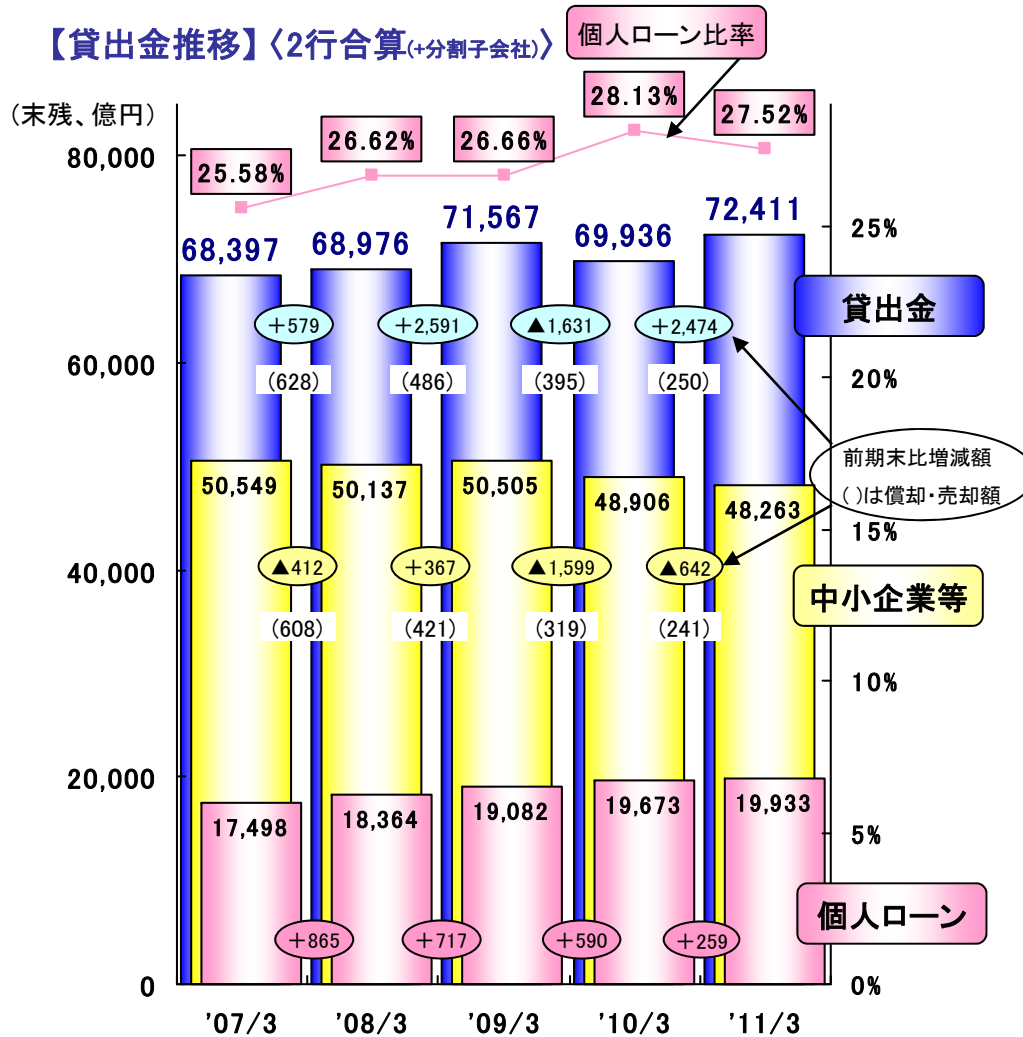


貸出金

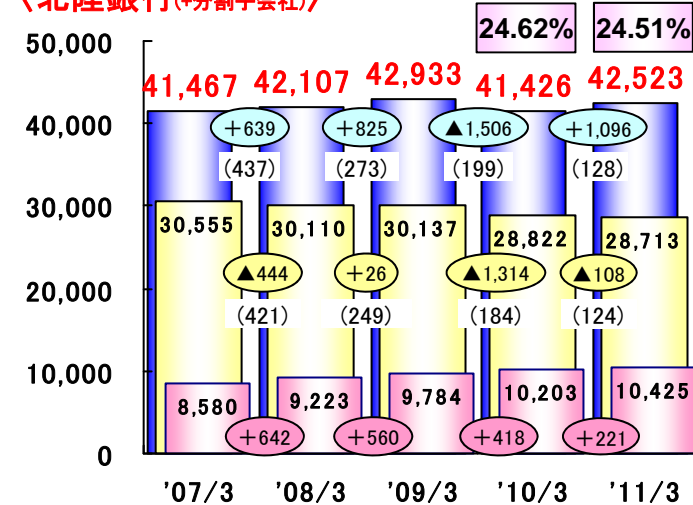
- 貸出金 10/3比 + 2,474億円(+3.5%)
- 中小企業等向け 10/3比 ▲642億円(▲1.3%)
- 個人ローン 10/3比 +259億円(+1.3%)

※償却・売却要因 250億円
(うち中小企業向け241億円)

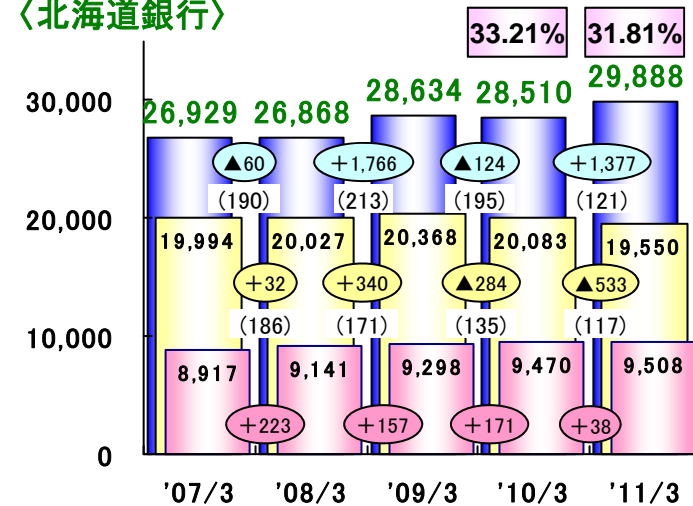
【貸出金推移】〈2行合算(分割子会社)〉



〈北陸銀行(分割子会社)〉



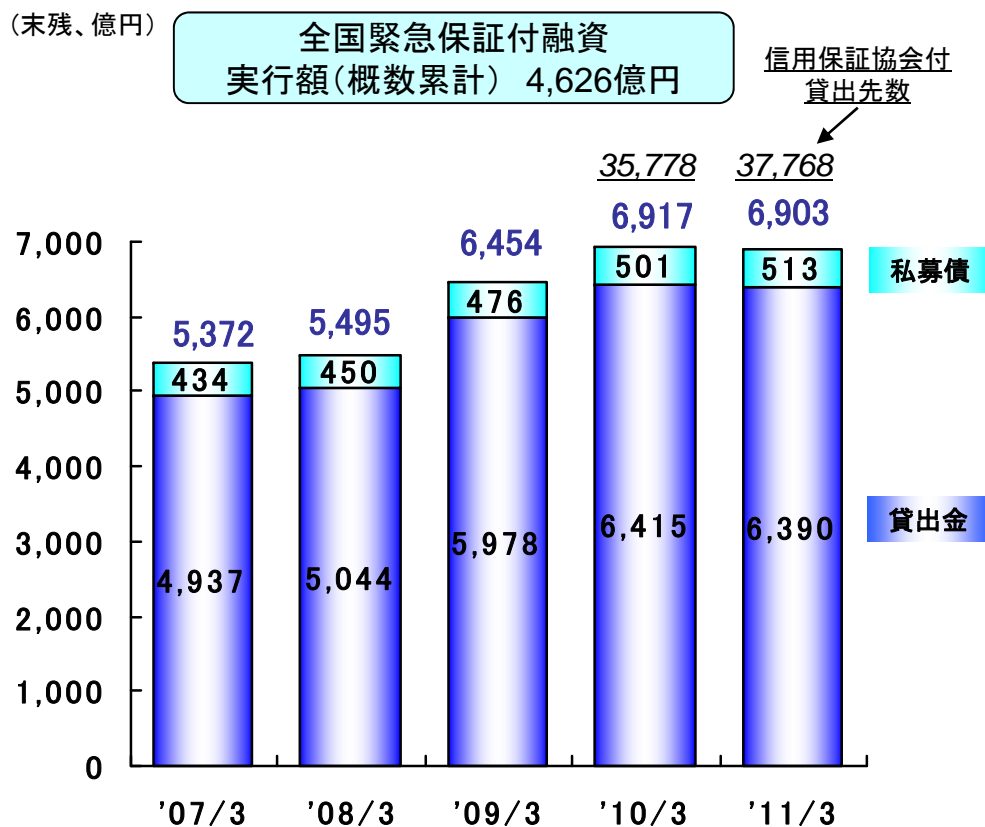
〈北海道銀行〉



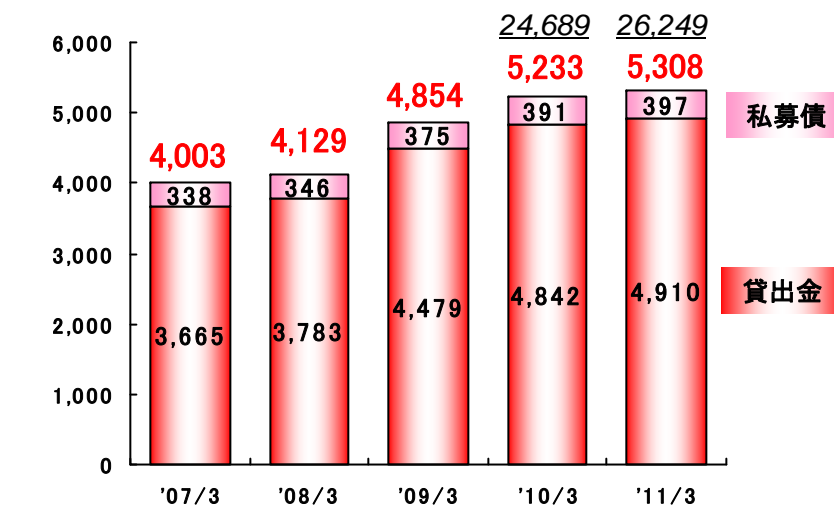
信用保証協会保証付貸出

- 信用保証協会保証付貸出金等残高 10/3比 ▲13億円(▲0.1%)
- 全国緊急保証付融資 実行額 (概数累計) 4,626億円

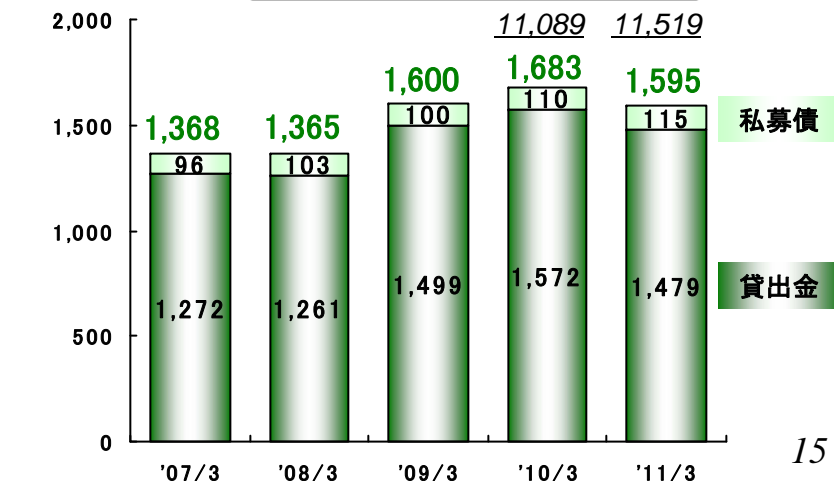
【マル保付貸出金等推移】〈2行合算+分割子会社〉



〈北陸銀行(+分割子会社)〉
全国緊急保証付融資 実行額(概数累計) 3,502億円



〈北海道銀行〉
全国緊急保証付融資 実行額(概数累計) 1,123億円

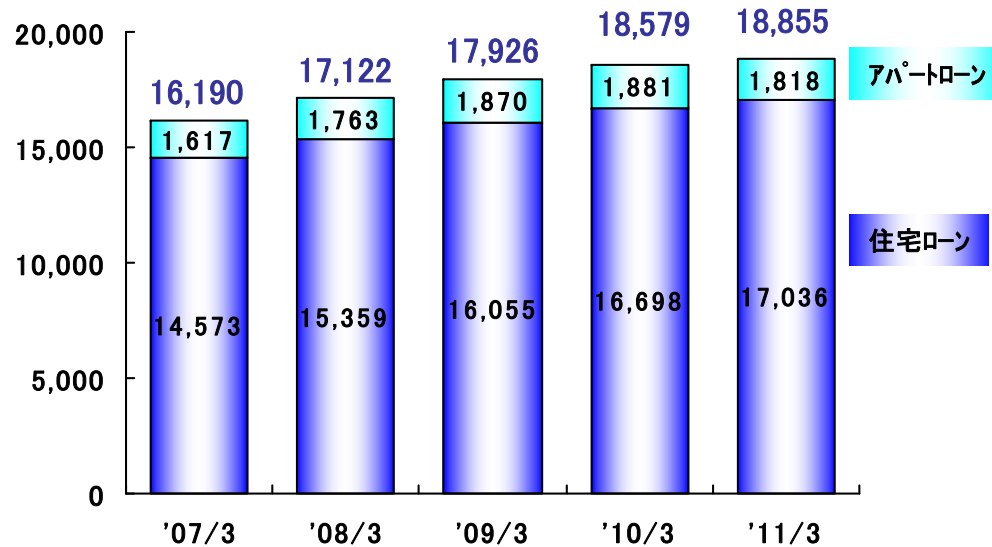


住宅ローン

住宅系ローン残高は275億円増加

【住宅系ローン残高の推移】
〈2行合算〉

(末残、億円)

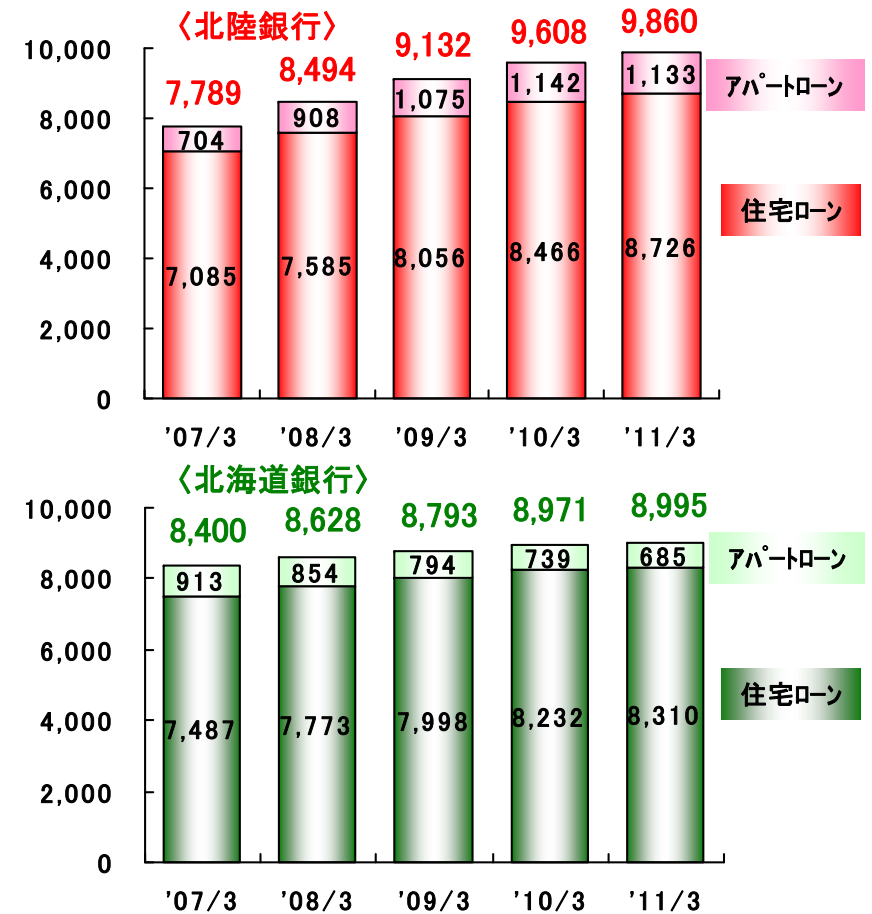


【住宅ローン実行額の推移】

〈2行合算〉

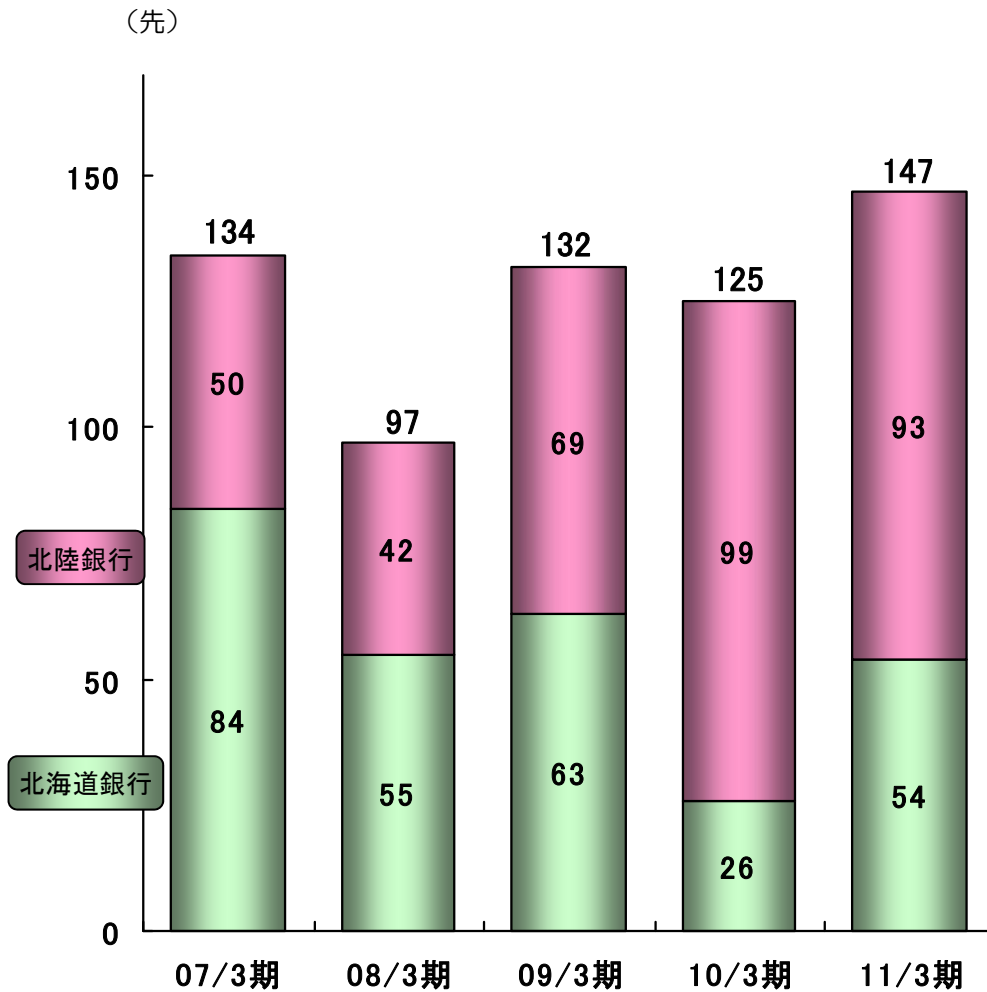
(億円)

	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期
住宅ローン実行額	2,228	2,275	2,186	2,095	1,894	1,076	1,135	1,108	1,047	961	1,152	1,139	1,077	1,048	932
うち新築	1,614	1,772	1,765	1,413	1,257	842	937	908	719	595	772	835	856	694	661
うち借換	613	502	421	682	637	233	198	200	327	366	379	304	220	354	270



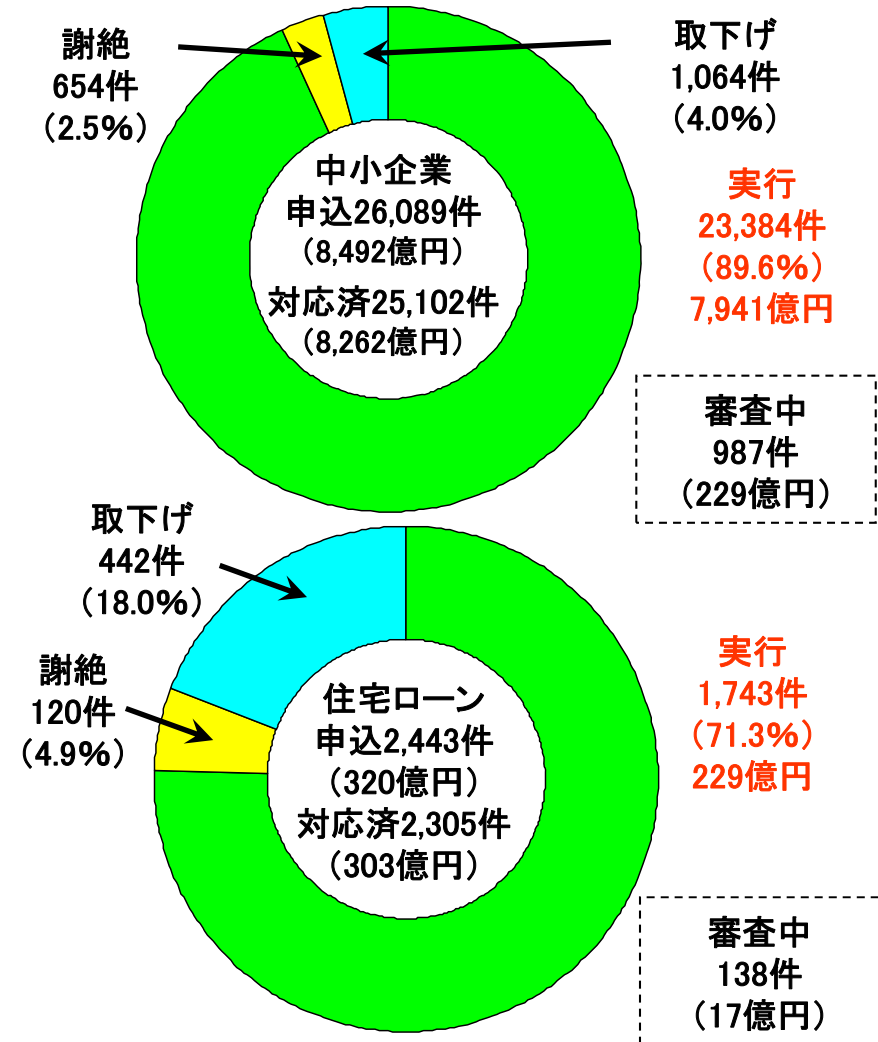
取引先支援・金融円滑化への対応

【経営改善支援の取組成果】



※経営改善支援により債務者区分がランクアップした先数

【金融円滑化対応実績】<2行合算> (21年12月～23年3月)

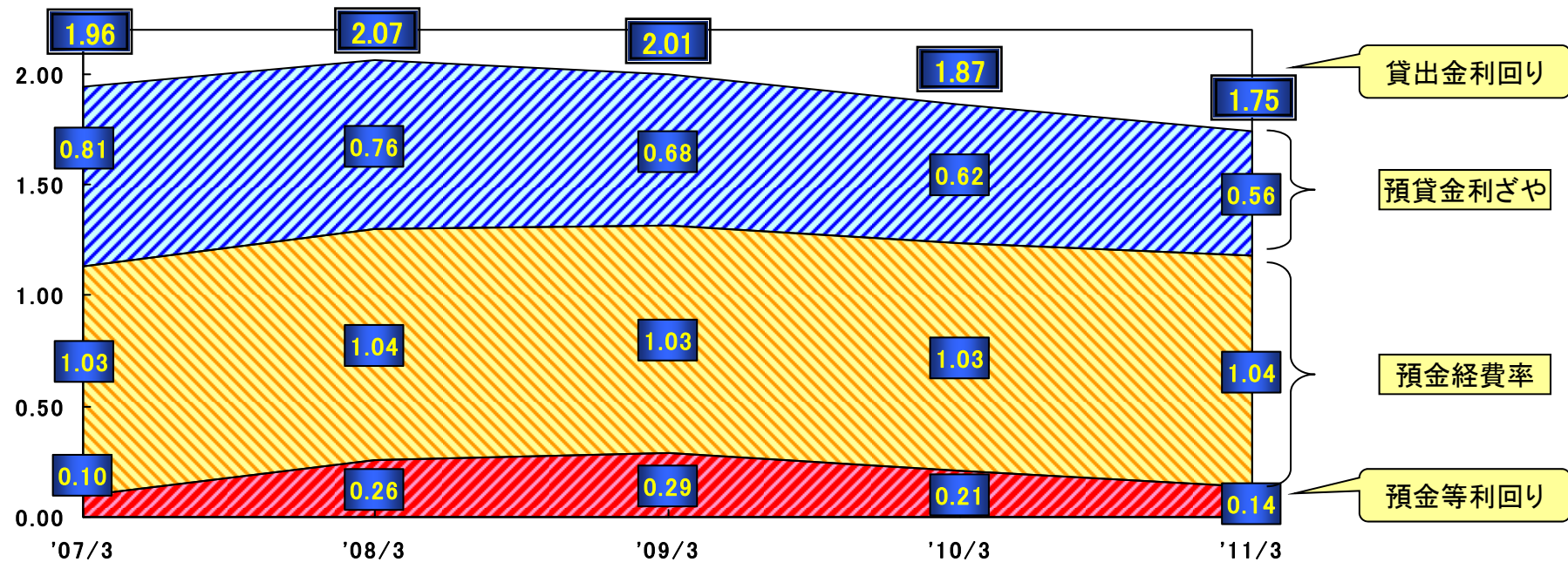


※「謝絶」には受付から3ヶ月超経過した先を含む

預貸金利ざや①

- 貸出金利回り 10/3比 ▲0.12%
- 預金等利回り 10/3比 ▲0.07%
- 預貸金利ざや 10/3比 ▲0.06%

【預貸金利ざや(国内業務部門)の推移】〈2行合算〉
(%)



〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

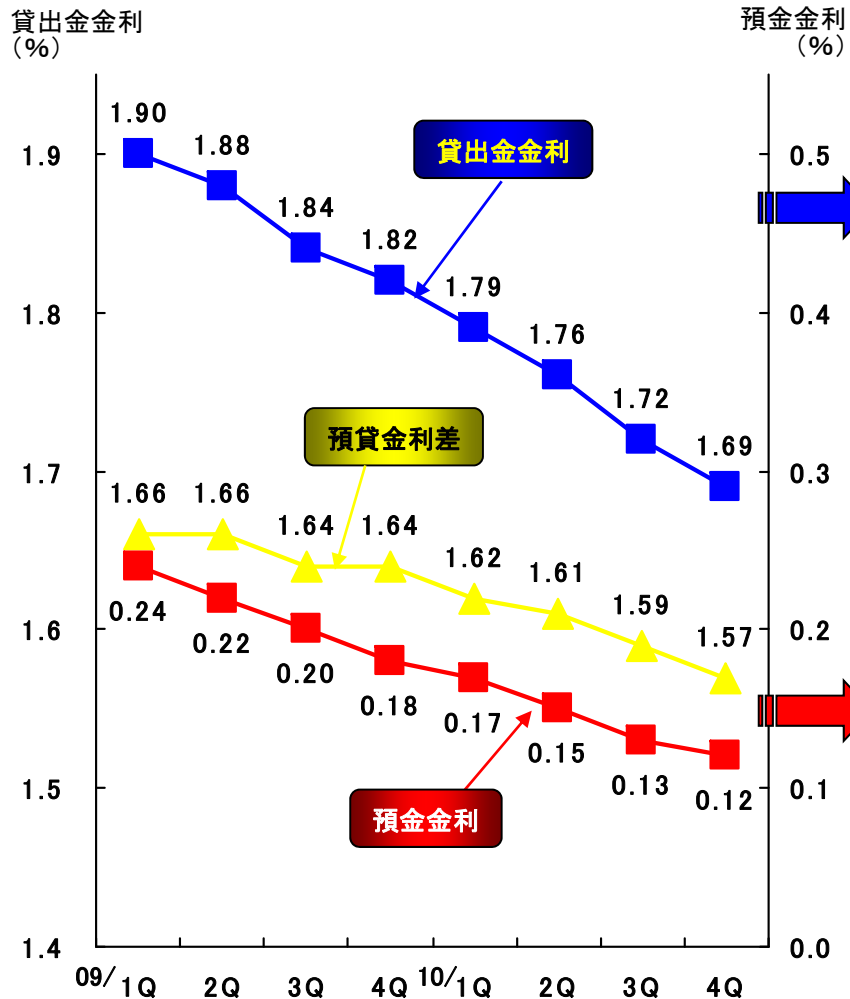
〈北海道銀行〉

(%)	〈2行合算〉					〈北陸銀行〉					〈北海道銀行〉				
	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	07/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期
貸出金利回り	1.96	2.07	2.01	1.87	1.75	1.88	2.00	1.93	1.80	1.68	2.07	2.17	2.14	1.98	1.84
預貸金利ざや	0.81	0.76	0.68	0.62	0.56	0.75	0.70	0.62	0.59	0.54	0.92	0.85	0.78	0.68	0.60
預金経費率	1.03	1.04	1.03	1.03	1.04	1.02	1.01	1.00	0.98	0.99	1.05	1.06	1.08	1.10	1.11
預金等利回り	0.10	0.26	0.29	0.21	0.14	0.10	0.27	0.30	0.22	0.15	0.09	0.25	0.27	0.19	0.12

預貸金利ざや②

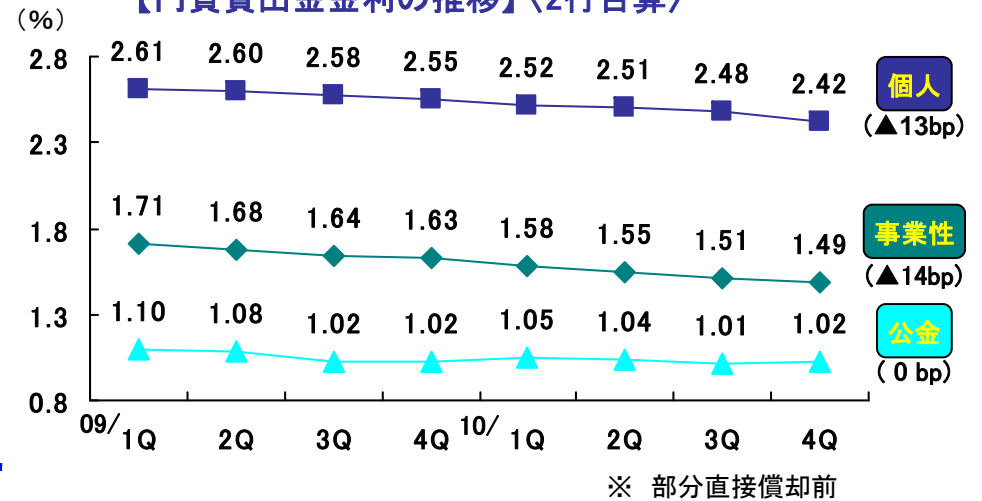
- 10/4Q 貸出金利1.69%(09/4Q比▲0.13%)
- 10/4Q 預金金利 0.12%(09/4Q比▲0.06%)

【円貨預貸金利の推移】〈2行合算〉

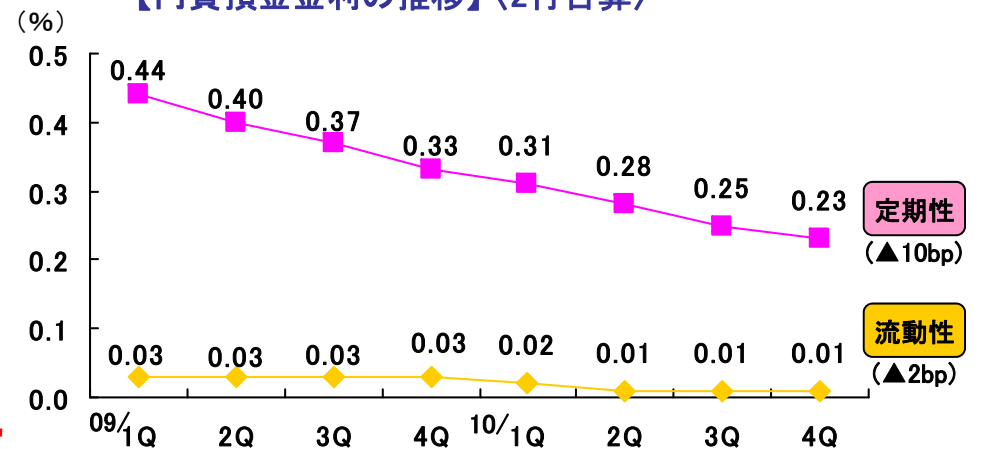


※ 内部管理ベース(約定金利ベース)

【円貨貸出金利の推移】〈2行合算〉



【円貨預金金利の推移】〈2行合算〉



※ ()内は09/4Qとの比較

投資型金融商品

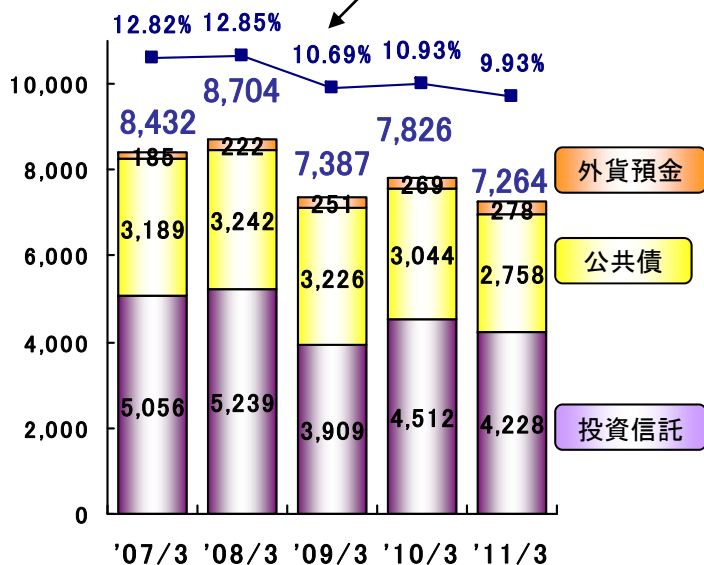
▶ 生命保険販売額は増加

【投資型金融商品の推移】

〈2行合算〉

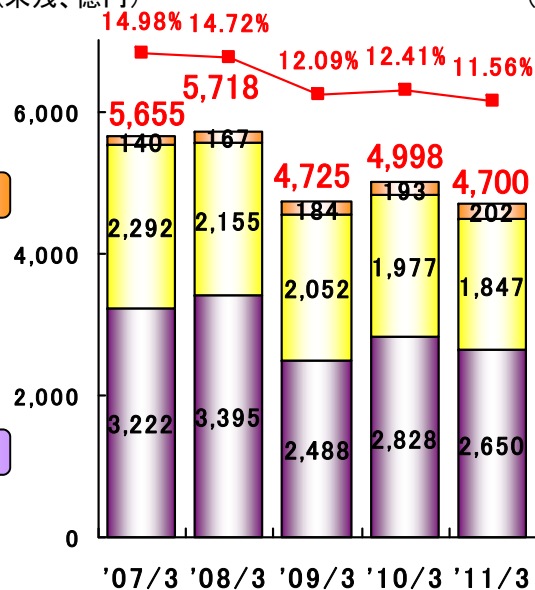
投資型金融商品比率

(末残、億円)



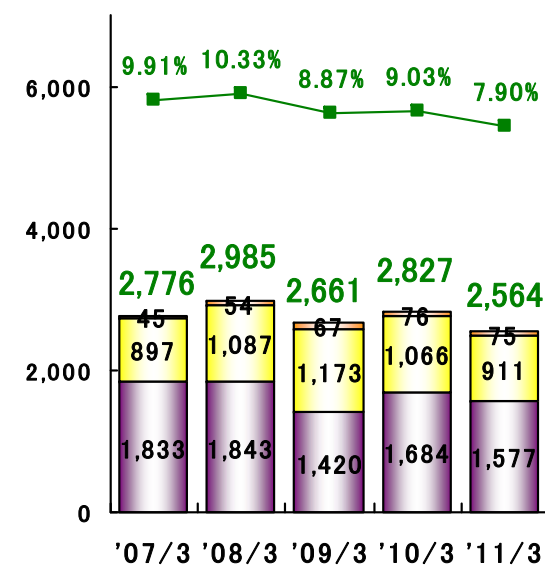
〈北陸銀行〉

(末残、億円)



〈北海道銀行〉

(末残、億円)



【投資型金融商品販売額、手数料の推移】

〈2行合算〉

〈北陸銀行〉

〈北海道銀行〉

(億円)	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期	08/3期	09/3期	10/3期	11/3期
投資信託販売額	2,618	842	1,383	1,213	1,897	440	1,046	894	720	401	337	318
生命保険販売額	836	829	944	1,168	569	555	514	747	267	273	429	420
投資信託手数料	90	43	53	47	62	27	37	32	27	16	15	15
保険手数料	44	39	32	36	30	29	21	25	13	10	11	10

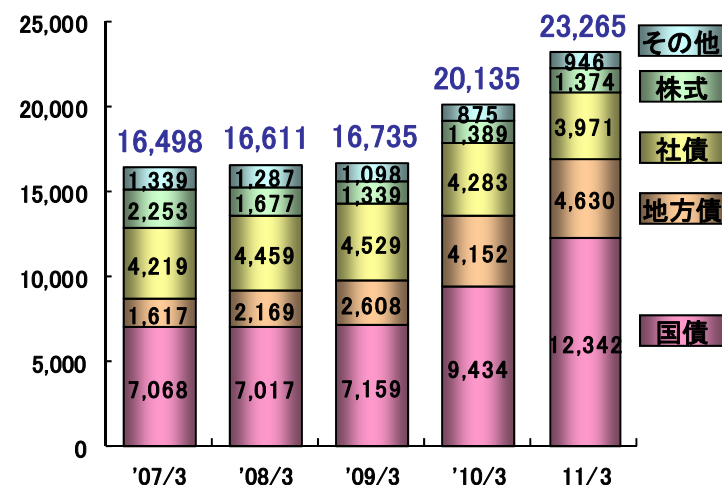
有価証券残高・評価損益

- 有価証券残高は国債・地方債を中心に増加
- 減損処理が進み、評価損益は改善

【有価証券残高】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	11/3末	増減	10/3末
有価証券	23,265	+3,130	20,135
国債	12,342	+2,908	9,434
地方債	4,630	+478	4,152
社債	3,971	▲312	4,283
株式	1,374	▲14	1,389
その他	946	+70	875

【有価証券残高の推移】 (億円)



【有価証券の評価損益】

〈ほくほくFG連結〉(億円)	取得原価			貸借対照表計上額			評価差額		
	11/3末	増減	10/3末	11/3末	増減	10/3末	11/3末	増減	10/3末
その他有価証券	22,857	+2,864	19,993	23,031	+2,897	20,133	173	+32	140
株式	1,076	▲10	1,086	1,071	▲5	1,076	▲4	+4	▲9
債券	19,993	+2,982	17,010	20,199	+3,000	17,198	205	+18	187
その他	1,788	▲107	1,896	1,760	▲97	1,857	▲28	+10	▲38

【変動利付国債の評価損益】 (億円)

〈参考〉評価損益	〈2行合算〉	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
理論価格	65	21	43
市場価格	▲9	21	▲30

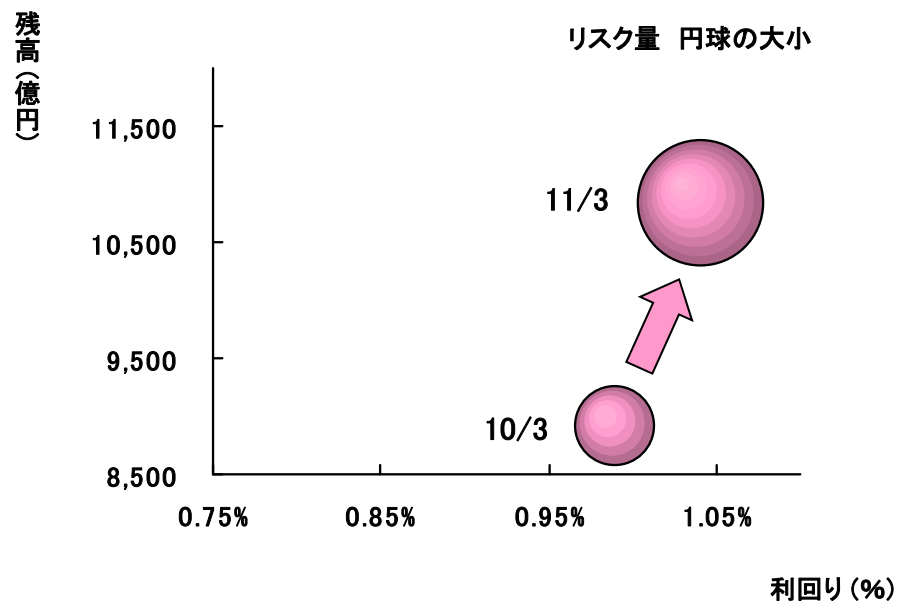
【銀行勘定の金利リスク】 (億円)

	〈北陸銀行〉	〈北海道銀行〉
金利リスク量	437	141
アウトライヤー比率	13.61%	6.36%

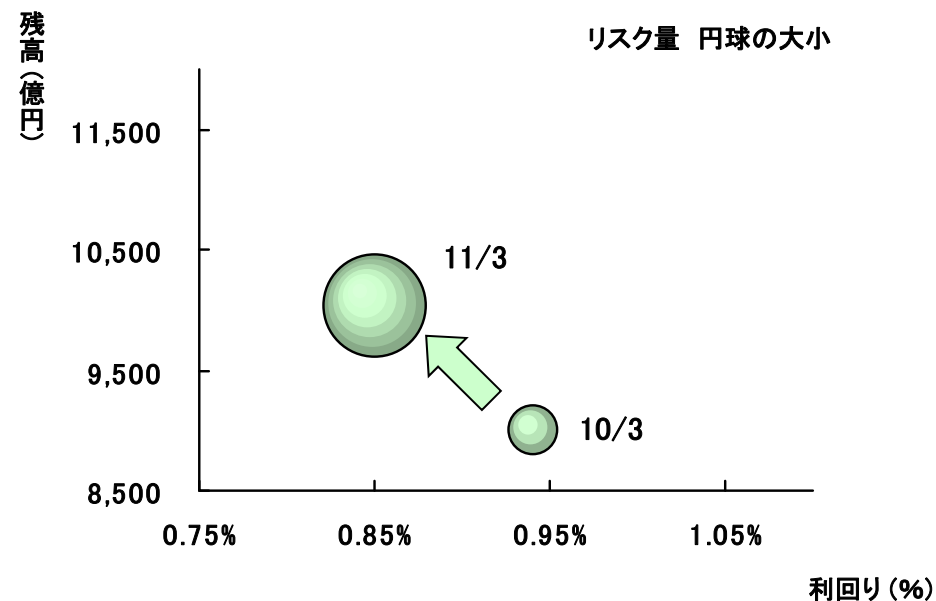
ポートフォリオ(円貨債券)

【円貨債券の残高、利回り、金利リスク】 ※ 内部管理ベース

〈北陸銀行〉



〈北海道銀行〉



	10/3期	11/3期
北陸銀行		
残高(末残)	8,922億円	10,835億円
うち変動利付国債(金利期日管理)	1,916億円	2,216億円
期中平均利回り(%)	0.99%	1.04%
デュレーション(年)	3.38年	4.24年
VaR	92億円	246億円
※補正後リスク量(VaR)	94億円	317億円

	10/3期	11/3期
北海道銀行		
残高(末残)	9,003億円	10,033億円
うち変動利付国債(GPS)	2,341億円	1,600億円
期中平均利回り(%)	0.94%	0.85%
デュレーション(年)	2.81年	3.49年
VaR	96億円	187億円
※補正後リスク量(VaR)	93億円	343億円

※バックテスト超過回数が4回以内となるよう倍率補正した債券総体(外債を含む)

営業力の強化 ～先数増加と取引基盤強化

- 新規開拓と既往つなぎとめにより取引先数を増加
- 総合取引・ソリューション営業を推進

新規先へのアプローチ

エリア悉皆訪問
接点強化
保証協会の情報利用

既取引先のつなぎとめ

リテンションファンド
保全付貸出
マル保+プロパー併進
総合取引推進

取引先数
の増加

総合取引推進

給与振込
E B・総合振込
外為取引
デリバティブ
オーナー取引
社員預金・融資
FGグループ会社取引

ソリューション営業

ビジネスマッチング
事業承継支援 (M & A)
海外進出支援
経営改善支援

産業調査部

- ・ 取引基盤の強化
- ・ 役務収益の下支え
- ・ 保全強化

事業性貸出
先数の推移
(単位：千先)

	10/3実績	11/3実績	13/3計画
北陸銀行	33.3	34.7	40.0
北海道銀行	10.1	10.8	12.3

- ▶ アジア・極東ロシアの成長を取り込み、地域経済の活性化を図る
- ▶ 蓄積したビジネスマッチングのノウハウを活用—顧客満足の高いコンテンツ提供



ビジネスマッチングのパイオニアとして

『伊藤忠グループ
「食」の個別商談会』
22年11月24日

農業生産者のための
北海道の『食』特別商談会
I N 上川(かみかわ)
22年10月6日



提携行政機関

上海市・遼寧省
広東省・大連市
瀋陽市・蘇州市
ベトナム政府
サハリン州・・・等

提携金融機関

中国銀行・中国交通銀行
バンクネガラインドネシア
タイ・カシコン銀行
インドステイト銀行
ベトナム銀行・・・等

お取引先企業の会員組織

ほくりく長城会・・・1,071社
ほっかいどう長城会・・・240社
上海長城会・・・197社
ほくほくASEAN会・・・150社
11/3現在

▶新規獲得と囲い込みによる年金・給振先数の増強
 ▶住宅ローンは借換を中心として残高を積み上げ

年金・給振受取先拡大

- ・年金相談会の開催
- ・年金スタッフ
- ・給与受取キャンペーン

年金・給与＋公共料金引落
など利用状況に応じた
サービスプログラムの提供




住宅ローン

新築件数は伸び悩み
⇒借換も重点をおき推進
(職域工作・重点地区ローラー)

+

家計メイン化の推進
アフターケア

延滞・初期対応は
ほくほく債権回収
相談体制の整備

投信・保険

退職者層・相続先
の取り込み

+

- ・ライフステージに応じた相談体制
- ・本部プライベートバンキングチーム

**給振・年金
先数の推移**
(単位：千先)

	10／3実績	11／3実績	13／3計画
北陸銀行	734.3	746.4	800
北海道銀行	864.4	873.1	950

- マーケットに応じた店舗展開
- 階層に応じた戦力化と、成長を支える人材を育成

店舗戦略

特定層向け店舗の開発

ほくぎんポイント
倶楽部サロン（高岡）

大通パーソナル
ラウンジ（札幌）



新店舗設置

札幌市内桑園地区（平成25年8月北海道銀行）

出張所の支店化（平成22年度実績）

北陸銀行・・・5店舗
北海道銀行・・・1店舗

人材育成

若手戦力化

教育体制の見直し
育成基準の明確化

専門性・コンサル能力の強化

農業経営アドバイザー取得奨励
会計士の行員採用

MEJAR移行体制の完結

営業人員へシフト

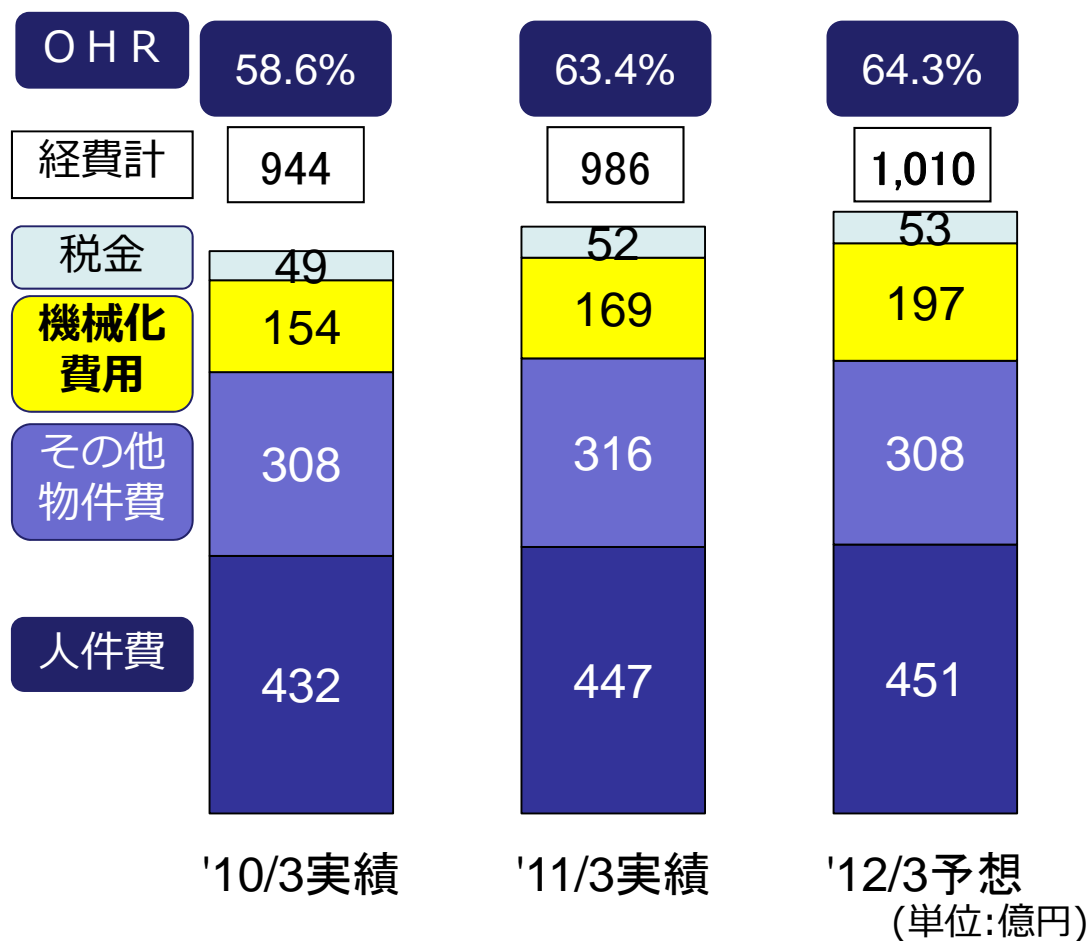
海外派遣

海外トレーニーへの派遣
海外研修の充実

効率化への取り組み

▶ 3行共同利用システム向けに追加費用—12/3期にピークアウト
 ▶ さらなる経費抑制・ガバナンスの強化に取り組む

経費・OHR (2行合算)



経費の抑制

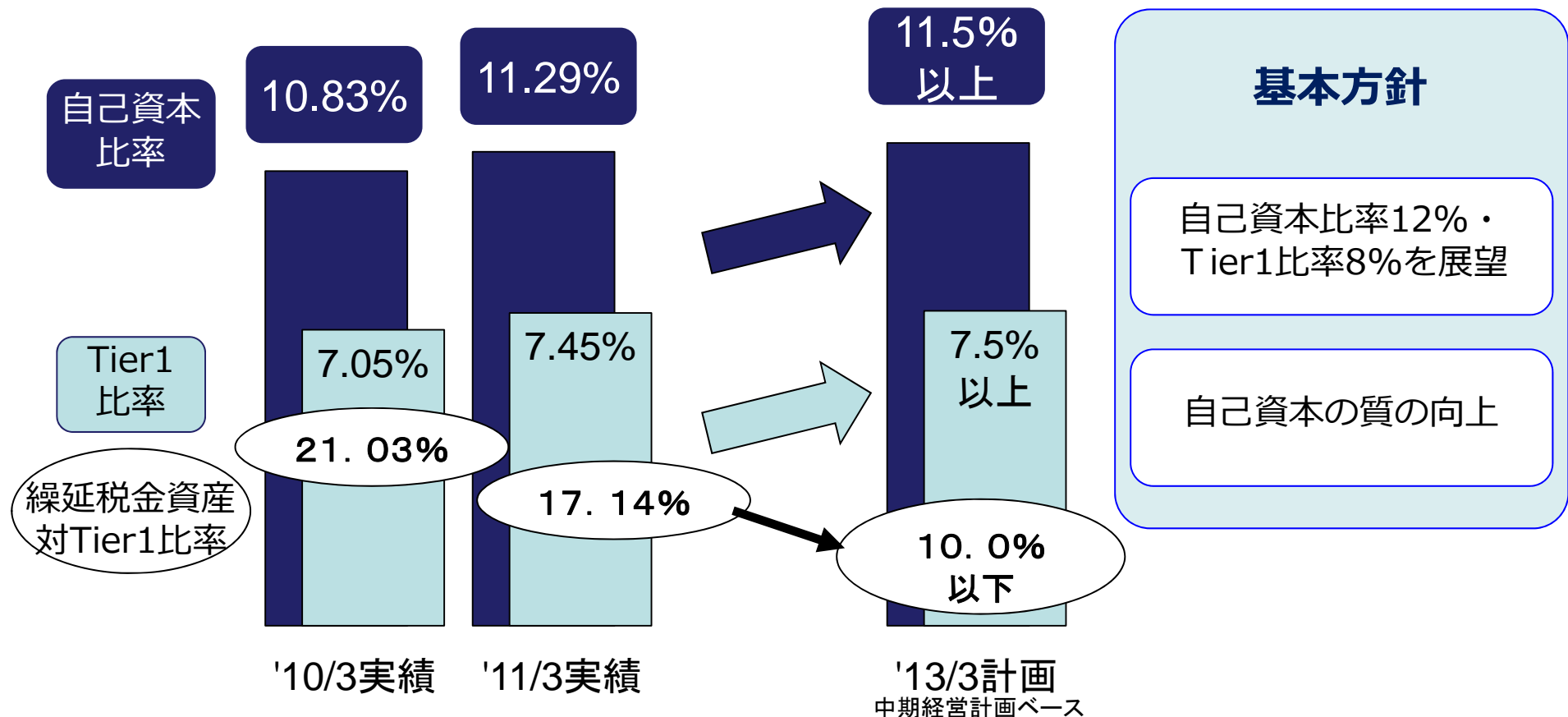
- ・ 研修・監査の共通化
- ・ システム機器・帳票共同調達
- ・ 事務取扱要領の共通化
- ・ システム開発コスト低減
- ・ バックオフィス集中化拡大

経営管理・ガバナンス強化

- ・ サブシステム共同化
- ・ 管理計数共通化
- ・ 制度・規制変更対応共通化
(I F R S ・ 自己資本比率規制)

経営基盤の安定化

- 収益の積み上げにより、資本の質の向上を図る
- 23/3期は震災、バーゼルⅢ等を踏まえ、自己資本積上げに配意（配当@3.75円）



「地域共栄」の経営理念のもと、地域の皆さまのニーズにお応えし、
皆さまと共に歩み、成長・発展することを目指します。



地域の賑わいづくり

富山ほくほく通り

地域のスポーツ支援

女子カーリングチームをサポート



地域のお祭りへの参加

越中大門凧まつり



音楽で潤いを

ライラックコンサート

大学院オープンクラス

富山大学大学院「MBA市民講座」



植樹活動

道銀フォレスト運動



被災地支援

支援物資・義捐金の提供

環境にやさしい店舗

太陽光パネル・LEDなどを採用



本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ(担当:丸谷)

TEL:076-423-7331

FAX:076-423-9545

E-MAIL:honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。